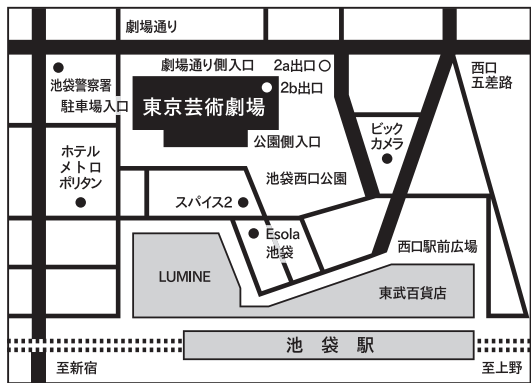


東京 芸術 劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

www.geigeki.jp



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
| 開館時間 | 土日祝日を除く 9:00～17:00
※9/6(土)より休館日を除く9:00～22:00

| 代表電話 | 03-5391-2111
JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より
徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口直結（休館中は閉鎖）。

1F 東京芸術劇場ボックスオフィス (チケット・総合案内カウンター)

| 予約 | 0570-010-296
| お問合せ | 土日祝日を除く10:00～17:00
※9/6(土)より休館日を除く10:00～19:00

5F 託児サービス

東京芸術劇場でご鑑賞の際は、一時託児を
ご利用いただけます。(要予約)
株式会社明日香

| お問合せ | 0120-165-115
(平日9:00～17:00)

B2F B3F 東京芸術劇場駐車場

| 利用料金 | 310円/30分
| 営業時間 | 7:00～24:00
| お問合せ | 03-6914-0019
※休館中のため閉鎖中。9/6(土)より再開

〈東京芸術劇場パートナー企業・団体 ご芳名〉東京芸術劇場の年間事業運営に賛同し、ご支援くださっている企業・団体のみなさまです。

アサヒグループホールディングス株式会社
Bloomberg L.P.

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社
明治座舞台株式会社

キッコーマン株式会社
住友生命保険相互会社

株式会社アートプリントジャパン
株式会社イープラス
池袋西口商店街連合会
株式会社ヴォートル
オルガノ株式会社

有限会社香山建築研究所
国際興業株式会社
コトブキシーティング株式会社
株式会社サンシャインシティ
三精テクノロジーズ株式会社
サントリーホールディングス株式会社
株式会社ジェイアール東日本ビルディング
株式会社ステージワークURAK
西武鉄道株式会社
第一生命保険株式会社
株式会社竹中工務店
多摩美術大学
株式会社帝国ホテル
株式会社テレビ朝日

株式会社テレ・ポーズ
株式会社東京ビッグサイト
東京臨海熱供給株式会社
東武鉄道株式会社
株式会社東武百貨店
一般財団法人TOPPAN三幸会
トヨタ自動車株式会社
西池袋熱供給株式会社
東日本旅客鉄道株式会社 池袋駅
びあ株式会社
HOTEL URBAN (ホテルアーバン)
ホテルメトロポリタン
株式会社松村電機製作所
丸茂電機株式会社

三菱地所株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
ミュージックスタジオ・フォルテ
ヤマハサウンドシステム株式会社
読売新聞東京本社
株式会社リソー教育
立教大学
株式会社ルミネ 池袋店
レンゴー株式会社
株式会社ローソンエンタテインメント
渡邊建設株式会社

他 匿名 2法人 (2025年5月現在)

※東京芸術劇場では、パートナー協賛の申し込みを随時受け付けております。詳細は、劇場WEBサイトをご覧いただくか、広報営業係担当まで直接お問合せください。 Tel. 03-5391-2117
※個人の方からのオンラインによるご寄附も受け付けております。一口2,000円より。詳細・お問合せ：(公財)東京都歴史文化財団 www.rekibun.or.jp/kifu/

INFORMATION

●東京芸術劇場再開館のお知らせ
東京芸術劇場は設備更新工事のため、2024年9月30日から休館しておりますが、工事の完了に伴い、下記日程から再開館いたします。
再開館日：2025年9月6日(土)

企画編集・発行／東京芸術劇場 事業企画課 広報営業係
編集／noi株式会社(殿井悠子・塚原沙耶) 校閲／朝日新聞総合サービス株式会社(AGS) 出版校閲部
撮影／筒井翼(P01) デザイン／REVEL46(志村正人)
印刷製本／株式会社技秀堂 ©東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

〈鑑賞サポート〉について

東京芸術劇場では、さまざまなお客様にお楽しみいただけるよう、一部公演で鑑賞サポートを実施しています。
対象公演や詳細は、「鑑賞サポート」ページをご覧ください。
詳細 ▶ www.geigeki.jp/access/support.html



掲載情報に変更が生じる場合がございます。最新情報は、劇場や各主催者のWEBサイトなどでご確認ください。次号の発行は2025年10月1日を予定しています。

2025年7月1日発行

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

芸
劇

BUZZ

9月6日(土)リオープン

9

vol.49 2025

開館35周年 野田秀樹芸術監督インタビュー

芸劇大公開！オープンデー

サラダ音楽祭2025

子どものためのオペラ『しろくまの王さま ヴァレモンの物語』

舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」芸劇オータムセレクション

「ヨナ-Jonah」 演出：シルヴィウ・ブルカレーテ 出演：佐々木蔵之介

「Mary Said What She Said」 演出：ロバート・ウィルソン 出演：イザベル・ユペール

「Planet[wanderer]」 コンセプト・振付：ダミアン・ジャレ コンセプト・舞台美術：名和晃平 CALENDAR ▶9月





NODA HIDEKI

“演劇は豊かでいいものだ
改めて感じる事ができた”

撮影：筒井翼

SPECIAL INTERVIEW

東京芸術劇場開館35周年、芸術監督ラストイヤーを迎えて

9月のリオープンに向けて設備更新工事が進む東京芸術劇場は、オープンから35周年という記念イヤー。と同時に、2009年に初代芸術監督に就任した野田秀樹氏の最後の任期の年度となる。この劇場について、芸術監督という立場について、改めて振り返ってもらい、未来についても語ってもらった。

芸術監督というオファーをもらった時、実は、この仕事は自分に向いているのか、かなり考えたんです。実際に向いていたかどうかは別にして、芸術監督になったことで、それまで観ていなかったところに目がいくようになりました。具体的に言うと、いろんな人の作品を幅広く観るようになった。そして、たとえ自分の趣味とは違っても、素晴らしい作品はたくさんある、やはり演劇は豊かでいいものだ改めて感じる事ができました。

また、観るだけではなく、多摩美術大学で教えたり、芸劇で東京演劇道場（野田氏の発案により2018年に始まった「芝居人」の会）の会合で「道場」を始めたことで、多くの若い人と一緒に創作するようになり、自分の考えをより明確に言語化する必要が出てきました。演出家の要求に必ずしも誰もが最初からできるわけではないので、その時に「こうできるようにしてほしい」という方向性を出す。同時に私の表現とは違うや

り方、考え方に接して、それはそれで決して悪いことではないので、どういう選択がよいのかを言葉にする習慣がついた。これは、自分の演劇観にも非常に大きく影響しましたし、創作にもプラスになりました。

就任時に「多くの人が集まる賑わいをつくりたい」「才能ある若い人たちに使ってもらえる劇場にしたい」「国際的な作品を上演し、世界には素晴らしい作品があると伝えたい」などの目標を立てましたが、ある程度は達成できたと思っています。心残りなのは、2020年からコロナがあり、地方の劇団との連携が思うようにはできなかったこと。そして現在も続いている工事が約10カ月あって、最後の年に向けてやりたかったことが少し尻すばみになったことですね。

ただ、コロナがあったことで良い方向に気持ちが変わったこともあり。舞台芸術が不要不急と呼ばれて、ステイホームとなった時、テレビの前で毎日ブツブツ文句を言っていたん

ですが、ふと、これじゃいけない、自分は行動して生きてきたはずだと思い立ったんです。そこでプロデューサーを中心に演劇界のいろいろな人に話を聞いたら、みんな同じように困っている。それで緊急事態舞台芸術ネットワーク（現・日本舞台芸術ネットワーク）という組織をスタートさせたんですが、これも芸術監督をやっていたから実現できたのかもしれない。

芸劇の歴史35年のうち、私は2009年からの17年しか知りませんが、運よく初代の芸術監督をさせてもらったので、何もない更地のところから自分のやりたいことを形にしてこられました。その点にはとても感謝をしています。大きさにしても立地の良さにしても、とても恵まれた劇場ですから、これからずっと賑わってほしい。舞台芸術部門での次期芸術監督の岡田利規さんと私とでは、演劇の種類がかなり違うので、その変化がさらに芸劇に広がりを生み、おもしろい劇場になっていくのではないでしょう。

聞き手・構成：徳永京子（演劇ジャーナリスト）



芸劇大公開！オープンデー

One Day Open Event

東京芸術劇場のリオープンを祝して、オープンデーを開催！

設備の更新工事で休館中の東京芸術劇場が、いよいよ今秋リオープン。再開を祝して、9月6日（土）に「オープンデー」を開催。4つのホールをはじめ、展示室など劇場全体を使用した無料のイベントを楽しめる。コンサートホールでは、オルガンコンサートや室内楽演奏、プレイハウスやシアターイーストでは身体を動かすワーク

ショップ、ギャラリーでは貴重なポスター展示など、イベントがもりだくさん！劇場ツアーに参加して、日頃入れない舞台の裏側を覗くこともできる。館内に設置されるスタンプラリー形式のクイズを楽しみながら、芸劇を探検してほしい。そのほかにも、アトリウムでのファンファーレ、劇場前広場での大道芸なども開催さ



芸劇大公開！オープンデー

9月6日④ 11:00～17:00

東京芸術劇場館内、劇場前広場

【入場無料】 プログラム詳細は8月中旬に発表予定

れ、子どもから大人まで、劇場に初めて来る人も誰でも楽しめるお祭りの一日。この機会に普段足を踏み入れたことがないホールにも入ってみるなど、芸劇の隅々まで遊び尽くそう！詳細は決まり次第WEBサイトにて発表！



【サラダ音楽祭】メインプログラム

子どものためのオペラ『しろくまの王さま ヴアレモンの物語』（日本初演・日本語上演）

Die Geschichte von Valemon, dem Eisbärkönig

愛する王子を救え！勇敢な少女の冒険オペラ

サラダ音楽祭では毎年、子どもたちが舞台芸術を楽しく体験できる機会を提供してくれる。今年は『しろくまの王さま ヴアレモンの物語』を上演。2020年にルクセンブルクで初演された子どものためのオペラの日本初演だ。

演出の菅尾友はドイツのコトブス州立劇場の首席演出家およびオペラ部門監督代理を務める。地域とのつながりを重視するドイツの公共劇場では、子ども向けの活動は重要なポジションを担っているという。彼自身、多くの作品を手がけてきた。その経験から、どんな作品を、どう見せれば子どもたちに“刺さる”のかを熟知しているのだろう。これまでのサラダ音楽祭の演目でも、子どもたちが歓声をあげ、前のめりになって、食い入るように舞台に集中しているのがわかる。

もちろん日本語での上演。その翻訳を演出の菅尾が自ら手がけていることで、芝居のテイストに、よりふさわしい言葉としてフィットしていると思う。

しろくまヴァレモンは人間の娘ラグナと結婚する。聡明なラグナはヴァレモンの心のやさしさを知っていて、彼を受け入れたのだ。じつはヴァレモンは人間の王子で、邪悪なトロールの女王の魔法でしろくまの姿に変えられていた。その秘密をラグナに知られてしまった彼はト

ロールの城に連れ去られる。勇敢なラグナはヴァレモンを救うために冒険の旅に出る。

という、「美女と野獣」+「ドラクエ」みたいな物語！

登場人物はラグナ（ソプラノ・種谷典子）とヴァレモン（バリトン・小野寺光）。そしてストーリーテラー（ソプラノ・神原愛可）が、物語の進行役であるとともに、ラグナの両親からトロールまでいくつもの役を演じ分ける。

作曲はウズベキスタン出身のオーストラリア

の女性作曲家エレナ・カツツ＝チェルニン。師のヘルムート・ラッペンマンのポスト前衛の姿勢をさらに徹底したような、「難解」とは無縁の現代サウンドに、台詞も多用されて、ミュージカルのように親しみやすい音楽劇になっている。

子ども向けの作品といっても“子ども専用”ではないし、ましてや“子どもだまし”ではまったくない。大人が観ても心から楽しめるエンタテインメント。親子そろって出かけた。

文：宮本明（音楽ライター）

TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2025 [サラダ音楽祭] メインプログラム

子どものためのオペラ『しろくまの王さま ヴアレモンの物語』（日本初演・日本語上演）

9月14日⑧・15日⑧⑨ 各日14:00開演
シアターイースト

演出・台本日本語翻訳：菅尾友
出演：ラグナ／種谷典子
ヴァレモン／小野寺光
ストーリーテラー／神原愛可

ヴァイオリン／福岡雄也
クラリネット／濱崎由紀
トロンボーン／東川暁洋
ハーブ／宮本あゆみ
打楽器／永野雅晴



【サラダ音楽祭】





舞台芸術祭
「秋の隕石2025東京」
芸劇オータムセレクション

佐々木蔵之介ひとり芝居「ヨナ-Jonah」 「Mary Said What She Said」 ダミアン・ジャレ×名和晃平「Planet[wanderer]」

Performing Arts Festival: Autumn Meteorite 2025 Tokyo | TMT Autumn Selection

圧倒的クオリティの世界に出会える3作品

シルヴィウ・ブルカレーテ×佐々木蔵之介、ロバート・ウィルソン×イザベル・ユペール、ダミアン・ジャレ×名和晃平。
空前絶後の最強コンビ×3連発の極上ラインナップが実現！

数ある東京芸術劇場と海外アーティストのパートナーシップの中でも、ルーマニアのラドゥ・スタンカ国立劇場およびシビウ国際演劇祭、その看板演出家であるシルヴィウ・ブルカレーテとの間には、ひときわ強固で親愛に満ちた信頼関係が築かれている。佐々木蔵之介は、これまでブルカレーテ×日本キャストによる『リチャード三世』（2017）と『守銭奴 ザ・マネー・クレイジー』（2022）に主演してきた、そのシンボルとも言える存在だ。3回目のブルカレーテとのタッグとなる今回は、ルーマニアの劇作家・詩人によるひとり芝居に挑戦。ルーマニアのシビウを皮切りに、ハンガリー、モルドバ、ブルガリアでの上演を経て日本公演に至るという国際共同制作が実現した。

『ヨナ-Jonah』はルーマニアを代表する劇作家・詩人のマリン・ソレスク（1936～96）の代表作で、旧約聖書のヨナ（イオナ）の物語をベースに、巨大なクジラにのみ込まれたヨナが孤独の中で自己と対話を重ねてゆく、ユーモアと哲学的示唆に富む作品。大胆な発想でビジュアル的にも観客を驚かしてくれるブルカレーテと、かつて主な登場人物をひとりで演じる『マクベス』（2015）を実に楽しそうに演じてみせたひとり芝居猛者の佐々木による名コンビが、思いきり遊び心に

溢れた世界を創り上げてくれそうだ。

ひとり芝居猛者といえば、パフォーミングアーツ界の超大御所ロバート・ウィルソン演出による『Mary Said What She Said』のイザベル・ユペールは、世界最強クラスと言っていいかもしれない。名優の名をほしいままにするレジェンドの地位にあってなお、映像・舞台ともに次々と世界中の先鋭なクリエイターと新たな作品に挑む攻めの姿勢を貫き続けており、ベルギー出身のイヴォ・ヴァン・ホーヴェ演出『ガラスの動物園』のアマンダ役で来日公演（2022）も果たし絶賛されたのは記憶に新しいところ。

今回は、スコットランド女王として生まれた時から、従姉エリザベス1世に幽閉され反逆罪で処刑されるまでの、波乱に満ちたメアリー・スチュアートの生涯を女王の独白として語る90分。漆黒のシルエットのまま肖像画のように静止した状態で話し始める冒頭から、メアリー＝ユペールの顔が闇から浮かび上がるまでで約15分。白（明）と黒（暗）の強烈なコントラストによる雄弁な光のグラデーションは、照明の魔術師でもあるウィルソンの真骨頂だ。ユペールは不動のまま語り続け、時に機械仕掛けの人形のよう突然両手を広げたり、歩き出したりする。こ

れもウィルソンの厳密な振り付けに違いなく、制限の限りが尽きた中で時間と空間を掌握してゆく彼女のスタティックな凄みには、能の至芸に近いものがある。ウィルソンとユペール、二人あわせると155歳。この、芸術表現において限界というものがない無敵コンビの結晶を日本で見届けることができるのは、僥倖以外の何ものでもない。

継続的にタッグを組み、ダンスや彫刻の領域を超えた表現を生み出してきたダミアン・ジャレと名和晃平。彼らもまた、並はずれたポテンシャルを引き出し壮大なオリジナル世界を構築する、振付家と彫刻家の大注目コンビだ。ジャレの度肝を抜く振り付けによるダンサーの動きと、名和が作り出す、物質と現象が交差する舞台美術が合体することで現出する風景は、人類としての遠い記憶を呼び覚ますような、原初的な蠢きと尊い美しさに満ちている。今回の『Planet[wanderer]』ではキラキラ輝く粒子を含む砂が印象的で、人間たちが自然と絡み合いながら、生の秩序を創りだしてゆくかのようなスケール。2020年に芸劇で上演されるはずだったがコロナ禍でかなわず、待ちに待った公演がついに実現する。

文：伊達なつめ（演劇ジャーナリスト）

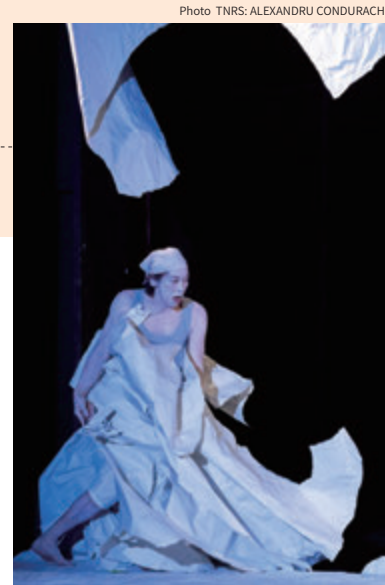
舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」

10月1日※～11月3日※※

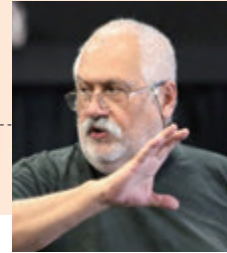
東京芸術劇場、GLOBAL RING THEATRE〈池袋西口公園野外劇場〉ほか



「秋の隕石」



「ヨナ-Jonah」



シルヴィウ・ブルカレーテ



佐々木蔵之介

©Peter Lindbergh



イザベル・ユペール

©Yiorgos Kaplanidis



ロバート・ウィルソン

「Mary Said What She Said」
10月10日金～12日日 プレイハウス

出演：イザベル・ユペール
演出：ロバート・ウィルソン
作：ダリル・ピンクニー
音楽：ルドヴィコ・エイナウディ

チケット一般発売：7月7日（月）



「Mary Said What She Said」

©Rahi Rezvani



「Planet[wanderer]」



ダミアン・ジャレ×名和晃平
「Planet[wanderer]」

佐々木蔵之介ひとり芝居「ヨナ-Jonah」

10月2日※～13日※※ シアターウエスト ※10月1日※プレビュー公演

原作：マリン・ソレスク 翻訳・修辞：ドリアン助川
演出：シルヴィウ・ブルカレーテ
舞台美術・照明・衣裳：ドラゴッシュ・ブハジャール
音楽：ヴァシル・シリー
出演：佐々木蔵之介

チケット一般発売：7月18日（金）



「ヨナ-Jonah」

©LUCIE JANSCH



「Mary Said What She Said」

©Rahi Rezvani



ダミアン・ジャレ

©Michael Somoroff



名和晃平

ダミアン・ジャレ×名和晃平
「Planet[wanderer]」
11月1日土～3日※※ プレイハウス

コンセプト・振付：ダミアン・ジャレ
コンセプト・舞台美術：名和晃平
出演：ショーン・アハーン エミリオス・アラボグル
カリマ・エル・アムラニ フランチェスコ・フェラーリ
ヴィンソン・フレイリー クリステリーナ・ギエブ
アストリッド・スウィーニー 湯浅永麻

チケット一般発売：7月7日（月）

VARIOUS PLACES

● 6日Ⓐ 11:00～17:00

芸劇大公開！オープンデー

料金：無料
問合せ：東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

CONCERT HALL

● 14日Ⓚ 11:00開演／15:00開演

TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2025 [サラダ音楽祭] メインプログラム
OK！オーケストラ～0歳から入場OK！

出演：大野和士(指揮)／小林顕作(司会)／コンドルズ(ダンス)
東京少年少女合唱隊(児童合唱)／東京都交響楽団 ほか
曲目：未定
料金：【全席指定】一般:2,000円／3歳以上～高校生:500円
問合せ：サラダ音楽祭事務局 03-6704-9342

● 15日㊦㊧ 15:00開演

TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2025 [サラダ音楽祭] メインプログラム
音楽祭メインコンサート《Boléro》

出演：大野和士(指揮)／新国立劇場合唱団(合唱)／Noism Company Niigata(ダンス)
東京都交響楽団 ほか
曲目：モーツァルト／ミサ曲 八長調 KV317《戴冠式ミサ》
ファリャ／バレエ音楽《三角帽子》第2組曲
ラヴェル／ボレロ[ダンス付き] ほか
料金：S:6,000円／A:4,000円／B:3,000円／C:2,000円／車椅子(S):2,000円
問合せ：サラダ音楽祭事務局 03-6704-9342

● 16日㊦ Closed. 関係者のみ

反田恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラ夏ツアー2025

● 18日㊦ 19:00開演

早稲田大学交響楽団 秋季演奏会

問合せ：早稲田大学交響楽団 information.wso@gmail.com

● 20日Ⓐ 18:00開演

豊島区管弦楽団 創立50周年記念 第100回定期演奏会

問合せ：豊島区管弦楽団事務局 090-6535-8643

● 21日Ⓚ 14:00開演

日本フィルハーモニー交響楽団 第256回芸劇シリーズ

問合せ：日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

● 24日㊦ 11:00開演

芸劇ランチコンサート～名曲リサイタル・サロン～
第33回「中村愛」

出演：中村愛(ハープ)／八塩圭子(ナビゲーター)
曲目：フォーレ／月の光 ラフマニノフ／前奏曲より「鐘」
ビュッセル／日本の歌「君が代」による即興曲 ほか
料金：【全席指定】3,000 円
問合せ：サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

● 25日㊦ 14:00開演

パイプオルガン講座
第96回 芸劇のオルガンの魅力を知ろう！

講師：徳岡めぐみ、ジャン=フィリップ・メルカールト、小林英之(オルガン)
料金：一般:1,500円／高校生以下:1,000円*
問合せ：東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

● 26日Ⓐ 18:30開演

武蔵野音楽大学管弦楽団演奏会

問合せ：武蔵野音楽大学演奏部 03-3992-1120

● 27日Ⓐ 14:00開演

パシフィックフィルハーモニア東京 第176回定期演奏会

問合せ：パシフィックフィルハーモニア東京チケットデスク 03-6206-7356

● 28日Ⓚ 14:00開演

東京佼成ウインドオーケストラ 第170回定期演奏会

問合せ：東京佼成ウインドオーケストラ 03-5341-1155

PLAYHOUSE

● 14日Ⓚ 13:00開演／15日㊦㊧ 13:00開演

TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2025 [サラダ音楽祭] メインプログラム
親子で楽しむダンス バレエ音楽『火の鳥』
Noism2メンバーによるダンス公演&ワークショップ

出演：Noism2
作品：ストラヴィンスキー／バレエ音楽『火の鳥』ほか ※録音音源での上演
料金：【全席指定】一般:1,500円／3歳以上～高校生:500円
問合せ：サラダ音楽祭事務局 03-6704-9342

THEATRE EAST

● 14日Ⓚ 14:00開演／15日㊦㊧ 14:00開演

TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2025 [サラダ音楽祭] メインプログラム
子どものためのオペラ『しろくまの王さま ヴアレモンの物語』
(日本初演・日本語上演)

作曲：エレナ・カツツ=チェルニン
原作台本：スザンネ・フェリシタス・ヴォルフ／
『しろくまの王さま ヴアレモンの物語』
演出・台本日本語翻訳：菅尾友
出演：種谷典子(ラグナ)／小野寺光(ヴァレモン)／神原愛可(ストーリーテラー) ほか
料金：一般:3,000円／小学生～高校生:1,500円
問合せ：サラダ音楽祭事務局 03-6704-9342

● 20日Ⓐ▶28日Ⓚ

池袋演劇祭参加公演
あやめ十八番 第十八回公演 草創記「金鶏 一番花」

問合せ：あやめ十八番制作部 090-7508-8629

THEATRE WEST

● 14日Ⓚ▶15日㊦㊧

TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2025 [サラダ音楽祭] メインプログラム
最新技術を活用した音楽体験 企画・制作協力:ヤマハ株式会社

料金：無料
問合せ：サラダ音楽祭事務局 03-6704-9342

GALLERY 1 5F

● 14日Ⓚ▶15日㊦㊧ 一部有料
TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2025 [サラダ音楽祭]
SaLaDワークショップ
問合せ：サラダ音楽祭事務局 03-6704-9342

● 17日㊦▶21日Ⓚ 無料
十人十色 百嬉百躍
栄美子戸田ロープとニューゼファーズキルト展
問合せ：ニューゼファーズ事務局 辻 06-6855-4168

● 24日㊦▶28日Ⓚ 無料
第54回 鳴鶴流天溪会書道展
問合せ：川村 090-8720-4872

GALLERY 2 5F

● 14日Ⓚ▶15日㊦㊧ 無料
TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2025 [サラダ音楽祭]
SaLaDワークショップ
問合せ：サラダ音楽祭事務局 03-6704-9342

● 17日㊦▶21日Ⓚ 無料
十人十色 百嬉百躍
栄美子戸田ロープとニューゼファーズキルト展
問合せ：ニューゼファーズ事務局 辻 06-6855-4168

● 24日㊦▶28日Ⓚ 無料
第54回 鳴鶴流天溪会書道展
問合せ：川村 090-8720-4872

ATELIER EAST B1F

● 14日Ⓚ▶15日㊦㊧ 無料
TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2025 [サラダ音楽祭]
SaLaDワークショップ
問合せ：サラダ音楽祭事務局 03-6704-9342

● 16日㊦▶21日Ⓚ 無料
第16回 保谷フォトクラブ写真展
問合せ：伊東カメラ保谷店内 保谷フォトクラブ 03-5387-1041

● 26日㊦▶28日Ⓚ 無料
第5回 白川会 中村光江一門能面展
問合せ：中村 080-5355-2559

ATELIER WEST B1F

● 14日Ⓚ▶15日㊦㊧ 無料
TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2025 [サラダ音楽祭]
SaLaDワークショップ
問合せ：サラダ音楽祭事務局 03-6704-9342

● 16日㊦▶21日Ⓚ 無料
写談撮んぼ 第20回写真展
問合せ：古谷 03-3487-3435

● 23日㊦㊧▶28日Ⓚ 無料
NIA展
問合せ：川俣 080-7951-3719

SCHEDULE
CALENDAR

9月
SEPTEMBER

5日Ⓐまで休館
休館日8日㊦・22日㊦

1 ㊦
2 ㊦
3 ㊦
4 ㊦
5 ㊦
6 ㊦
7 日
8 ㊦ …… 休館日 ……
9 ㊦
10 ㊦
11 ㊦
12 ㊦
13 ㊦
14 日
15 ㊦㊧
16 ㊦
17 ㊦
18 ㊦
19 ㊦
20 ㊦
21 日
22 ㊦ …… 休館日 ……
23 ㊦㊧
24 ㊦
25 ㊦
26 ㊦
27 ㊦
28 日
29 ㊦
30 ㊦

ヒアリンググループ
作動対象公演

BOX ▶東京芸術劇場
ボックスオフィスにて
チケット取扱いのある公演
(WEBのみ取扱いの公演や、取扱いのない
券種もございます)

・原則、未就学児のご入場はお断りし
ています。
・※は芸劇ボックスオフィスで前売
のみ取扱い。年齢割引[チケットは枚
数限定・公演当日要証明書。

東京芸術劇場ボックスオフィス
0570-010-296
土日祝日を除く10:00～17:00
※9/6(土)より休館日を除く
10:00～19:00



「TMTギア
ー東京芸術劇場クリエイター
支援プロジェクト」始動

東京芸術劇場が2024年度より実施してい
る、舞台芸術・音楽の未来を切り開くための、
新しいプロジェクト「TMTギア」。

世界に向けてチャレンジングなプロジェク
トを実現したい人をアート・クリエイターと
して広く募集し、多数の応募の中から5名の
アート・クリエイターを選定しました。

[パフォーミングアーツ分野] は、額田大志
(作曲家・演出家・劇作家)、山崎阿弥(声の
アーティスト・美術家)。

[音楽分野] は、長瀬善則(コロンビア大学経
営大学院(MBA)在籍)、布施砂丘彦(コントラ
バス奏者・音楽批評家・プロデューサー)、吉
野良祐(オペラ演出家・演出助手)。

次期芸術監督の岡田利規(舞台芸術部門)、
山田和樹(音楽部門)と当劇場スタッフがメン
ターとなり、劇場内外でのクリエイション、海
外でのリサーチやプロモーション活動など、
世界に向けたプロジェクトの実現を目指しま
す。

また、合わせて、アート・クリエイターに伴
走する映像メディアチーム、インハウスス
タッフも育成していきます。

活動状況は、劇場WEBサイト・SNS・広報
誌などで発信していきますので、プロジェク
トの今後にご期待ください。

